

# 生活

## イメージする・想像する

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
学習の振り返りの場面において学習内容を想起することが難しい	体験した事・学習したこと等を思い出すことができるように

### <手立て>

学習経過が分かる文章や写真、イラスト等を活用する

- ・学習経過の分かる掲示物やイラスト、写真等を教室内に掲示しておく。
- ・学習の振り返り場面で、これまでの学習の様子を撮影した動画を見るようにする。
- ・写真やイラストは黒板に貼るとともに、縮小して机上で並び替えられるようにする。

#### ポイント！

黒板に書かれた文字だと、分かりにくかったり、注目しにくかったりする児童生徒もいる。その場合は、手元で操作できる方が、より分かりやすい。



#### ポイント！

絵や写真・動画等、視覚的教材を用いると想起しやすくする。



#### ポイント！

場面や意見等によって、色分けすると、より分かりやすい。



- ・学習過程での発言を短冊や付箋に記入して、まとめに活用する。

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
体験学習の活動の見通しをもつことが難しく参加することに不安がある	体験学習の流れや訪問場所、活動内容等、学習活動の見通しをもつことができるように

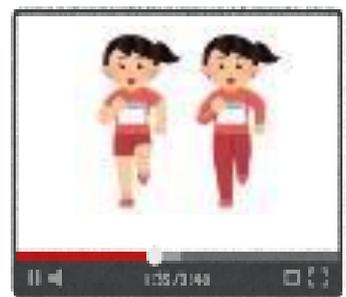
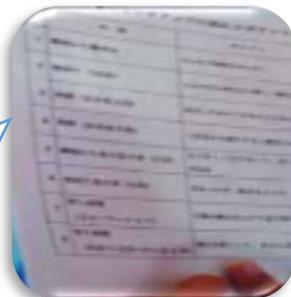
### <手立て>

写真や動画等の資料を提示して、イメージをもてるようにする

- ・事前に訪問予定地の写真や動画を確認する。
- ・予定時刻や活動内容を記したスケジュール表を作成し、その場所での活動の見通しがもてるようにする。

#### ポイント！

学習活動の代替を安易に行うことがないように留意する。



## イメージする・想像する

## 書く・書きとる

### <困難さ>

自分の経験を文章にしたり  
考えをまとめたりすることが難しい

### <指導の工夫の意図>

どのように考えればよいのか、  
具体的なイメージを想起できるように

### <手立て>

考える項目や順序を示したプリントを準備したり、事前に考えたことを言葉や動作で表現したりしてから文章に書くようにする

- ・「伝えたいこと」と「説明」の2段階構成や、「伝えたいこと」「理由」「例」「まとめ」の4段階構成等のフォーマットを活用する。

### ポイント!

作文や文章を書くことに苦手意識ある児童生徒が、「フォーマットに沿って書いたら、簡単に文章にすることができた!」と、良いイメージをもち、次への学習意欲に繋がるようにする。



## イメージする・想像する

## 指示を理解する

### <困難さ>

言葉での説明や指示だけでは  
安全に気を付けることが難しい

### <指導の工夫の意図>

説明や指示の意味を理解し  
なぜ危険なのかをイメージできるように

### <手立て>

- ① 体験的な事前学習を行うなどの配慮をする。
- ② 具体物や写真、イラスト、映像等を活用したり、教師が児童の近くで演示したりして、説明する。

- ・事前に、安全に気を付けなければいけない場面の絵や写真を確認する。
- ・校外での活動の前に、写真や動画を活用しながら教室や廊下を道路に見立てて、道路の歩き方などについて事前に学習をする。
- ・事前に危険が予測される物の扱い方について、動画等で確認したり、教師と一緒に練習したりする。

### ポイント!

絵や写真・動画等、視覚的教材を用いると具体的にイメージしやすい。



# 話す・聞く

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
自分の考えをまとめて発表することが難しい	発表することの負担を軽減できるように



## <手立て>

① 絵カードやメモ、タブレット端末等、話し言葉を補うための手段を用意したり、教師が側で言葉を補ったりする

- ・前に出ることが難しい場合は、自席で発表したり、教師が側で言葉を補ったりする。
- ・聞き手に分かるように、絵カードに吹き出しや簡単なセリフを書き込んで発表できるようにする。
- ・タブレット端末やコミュニケーションボード等を活用して、話し言葉を補うようにする。

**ポイント！**  
実態に合ったアプリケーションやコミュニケーションボードを活用する。

**ポイント！**  
あらかじめ発表内容を書きしておくことで、本人も発表しやすく、聞き手にも伝わりやすくなる。

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
声の大きさや速さなどを調整することが難しい	丁度よい声の大きさと速さがあることに気付くことができるように



## <手立て>

記録機器を活用する

- ・見学の様子やインタビュー、発表の様子等をビデオ撮影したり、録音したりする。

**ポイント！**  
自分で丁度良い声の大きさに気付いたり、声の大きさや速さをコントロールしようと意識したりすることが大切である。

こえのおおきさ

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
長い時間集中し続けることが難しい	学習の流れや自分の取り組む内容が分かるように



## <手立て>

<p>① 刺激を整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のページを開かないようにする。</li> <li>・刺激になるものを片付ける。</li> </ul> <div data-bbox="199 1971 422 2116" style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;"> </div>	<p>② 学習の手順を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や本時の活動計画を掲示し活動のゴールを提示する。</li> <li>・グループ活動用のシートを準備し役割分担や具体的な活動(いつまでに何をするのか)を書くようにする。また、シートを常に確認できるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="1061 1892 1252 2072" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p><b>ポイント！</b> 簡潔に分かりやすい言葉や絵や写真等を示す。</p> </div> <div data-bbox="1268 1870 1476 2105" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;"> </div>
--	--

## 状況を把握する

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
学校生活に関係する人々や校舎の様子について理解することが難しい	教職員や地域の人々の存在に気付き、そうした人々の役割、特別教室等の位置や使い方を理解することができるように

### <手立て>

① イラストや写真等、理解を助ける視覚的な資料を用意する

- ・ 写真を活用する。
- ・ 作成した関係図等を、年間を通して掲示する。

#### ポイント!

校舎配置図に、関係する教職員の写真と名前を書いて掲示すると、関連付けて覚えることができる。



② 教職員や学校生活を支える地域の人々と交流する機会を設ける

- ・ 見学で見つけたものを写真に撮り、学習活動に使う。
- ・ 学校探検、学区探検で出会った人々にインタビューをする機会を設ける。
- ・ 人の顔や働きの様子が分かる写真の入った関係図等を活用する。



## 道具を操作する

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
みんなで使う物等を大切に扱うことが難しい	大切に扱うことの意義や他者の思いを理解できるように

### <手立て>

学習場面に即して、児童の生活経験等も踏まえながら具体的に伝える

- ・ 教科書巻末に掲載されている工作等をする際の手順や工夫に関するページを活用し、用具等の扱い方を確認する。
- ・ 道具を正しく安全に使っている児童を褒め、その児童をモデルとして、学級全体で正しく使おうとする意識を高めるとともに、正しく使用しなければならない理由を具体的に考える場面を設定する。
- ・ 道具、用具等の扱い方についての動画を見るようにする。
- ・ 作ったおもちゃ等で遊ぶ際は、遊び方や気を付ける点などを動画や写真で確認する。
- ・ 道具、用具等の片付け方を写真やイラスト等で具体的に示す。

#### ポイント!

写真や動画を活用して、具体的に視覚的に分かりやすいようにする

